



## テーマ「食料と飼料の自給」

輸入に依存する食料と飼料の実態を知り、自給について考え解決策を探ります。オンラインのほか、会場にご参加いただけます。ご参加をお待ちしています。

### 第1回講座 7月6日(日)14:00~16:30 「食料・農業・農村」の危機的状況と 米騒動

全国有機農業推進協議会 理事長

#### 下山久信さん

世田谷区烏山町に生まれる。大学在学中に三里塚・芝山空港反対運動に参加。山武農協入所、無農薬・有機部会設立、JAに農産物直売所を建設。退職後、農事組合法人「さんぶ野菜ネットワーク」設立常勤理事・事務局長に就任。NPO法人全国有機農業推進協議会設立、理事に就任。2007年に新規就農、有機JAS取得、野菜果樹生産。各種農業問題に政策提言を行う。全国オーガニック給食協議会副代表理事。



### 第2回講座 11月8日(土) 14:00~16:30 「食と農をみんなのものに」(仮題)

千葉商科大学人間社会学部 准教授

#### 小口広太さん

1983年、長野県塩尻市生まれ。日本農業経営大学校を経て2021年より現職。専門は食と農の社会学、地域社会学。食と農をつなぐ仕組みづくりに着目し、有機農業や都市農業の現場でフィールドワークに取り組んでいる。主な著書に『日本の食と農の未来:「持続可能な食卓」を考える』(光文社)、『有機農業:これまで・これから』(創森社)、『農の力で都市は変わるか』(コモンズ)などがある。



### 第3回シンポジウム 2026年1月31日(土) 14:00~16:30

#### 「国産なたねによる食料と飼料の自給と 資源循環型社会」(仮題)

京都橘大学経済学部 准教授

#### 平賀緑さん・米澤製油株式会社他

国際基督教大学卒業後、香港中文大学へ留学。新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・環境・開発問題に取り組む市民活動を企画運営した。ロンドン市立大学修士(食料栄養政策)、京都大学博士(経済学)。食と資本主義の歴史、植物油を中心とした食の政治経済を研究している。著書に『食べものから学ぶ現代社会』(岩波ジュニア新書、2024年)、『食べものから学ぶ世界史』(岩波ジュニア新書、2021年)、『植物油の政治経済学』(昭和堂、2019年)。



●会場:生活クラブ連合会大会議室  
(3講座すべて)  
東京都新宿区新宿6丁目24-20  
KDX新宿6丁目ビル7階



●詳細はこちらから

【お申込み】 たねと食とひと@フォーラム事務局  
info@nongmseed.jp

- 件名に「2025年度講座参加希望」と明記
- メール本文に①参加者氏名
- ②会場参加/オンライン参加の別③視聴URL送信のためのEmailアドレス
- ④会場参加の有無⑤連絡先電話番号

【参加費】ライブ視聴、資料、録画配信含む

●一般:3,000円 ●学生:無料 ●当会会員(団体・法人は1名のみ):無料※講座申込み時に会員登録された場合も無料となります。

【振込先】振込名は参加者名でお願いします。

ゆうちょ銀行 店名 ○〇八(ゼロゼロハチ)  
店番 008 普通預金 記号番号 10020  
口座番号 4832958  
口座名義 タネットショクトヒトアットフォーラム